

「みなみあいづ健康館」（仮称） で町民の健康維持は

町長 現時点で建設する計画はない



中 湯田 哲 議員



一般質問 YouTube

問 町民の健康は、町民一人ひとりが自分で守るしがありませぬ。毎日の散歩や町民向けの健康体操を自宅で続ける人もいます。議員様がいろいろ健康になり医療費の削減にもなります。過半数内アール、子供たちの活用、フィットネスマシン、リハビリ施設を備えた「みなみあいづ健康館」（仮称）をつくる考えは。

答 現時点で、そのような複合施設を建設する計画はありません。

問 この健康館が住む町として通はれる魅力になるといえるのは。

答 町としての魅力の一つとなる可能性はありますが、維持管理費は、町の一般会計から支出することになり、結果として住民の負担になることも認識しなければなりません。

問 子供には「教育」が必要だし、大人、高齢者には「今日行く」の場が必要だといいます。人は高齢になると「今日行く」ところがなくなり、誰かとおしゃべりをする機会も減ります。おしゃべりをするだけで、互いに元気になる機会、環境があればと考えます。町は公民館や施設を完備していますが、自転車がないと参加できない人もいます。改善

その他の質問

・びわのかけ水施設の供出、その今後は

答 町民の健康づくりや生きがいづくりのため、「愛宕学級、駒止学級、七峰学級」など運動した、「今日行く」の場として、多くの方が参加できるように努めていきます。運動バスなどを開設し、多くの方が参加できるように努めていきます。運動バスは、運動が止断回となることから、現状では考えていません。

級、「いきいき倶楽部」除岩・伊南・南郷」などを開設し、多くの方が参加できるように努めていきます。運動バスは、運動が止断回となることから、現状では考えていません。

「今日行く」の場で 心身健康な町の実現は

議員質問

多くの方が参加できるよう引き続き努めていく